# 金毘羅船利生觀音四編

全　卷　附

由亨馬琴著

歌川英泉画

へ13
3159
4

へ13
3159
4

世ふ萬物の生出るや愚るあり賢あり清あり濁ありそぶ
地と父母と和合して清しとも淨うける正氣を稟て生るゝ
五臟も亦清淨し五臟の清く淨なれば睿明あり命長く生
るゝ事あり知り死して亡びも便これを神と稱へ佛と唱へ聖人といひ又
その惡と賢者とあり人ゝ淨藏ハ是一人の名ゆゑ一人の名なり
神仏聖賢かゝるべて皆淨臟といふまことあれども賢愚清濁是
同根佛も邪魔も一体真如彼百怪ハ虛名ゆゑ正覺も亦本來空
迷ふければ悟もなく佛世界ハ外道ゆゑ外道もまぐれよくても知れるべし
邁ゝ何有の鄉人ゝ向へべし

文政十二癸年春正月吉日新版　曲亭馬琴自叙

異國よ
まみ
はえ
ぬ
とも
假
名
元の
世を
踏る筆よ
日本毛どよき
賴鶯齋

勇部綾彦

虎穴山猫王





舍利ふひ
菩薩
ともよ
米のき

綾彦が妻
笠志江

後の世
の
む
旅の
ゆく
る

閑齋

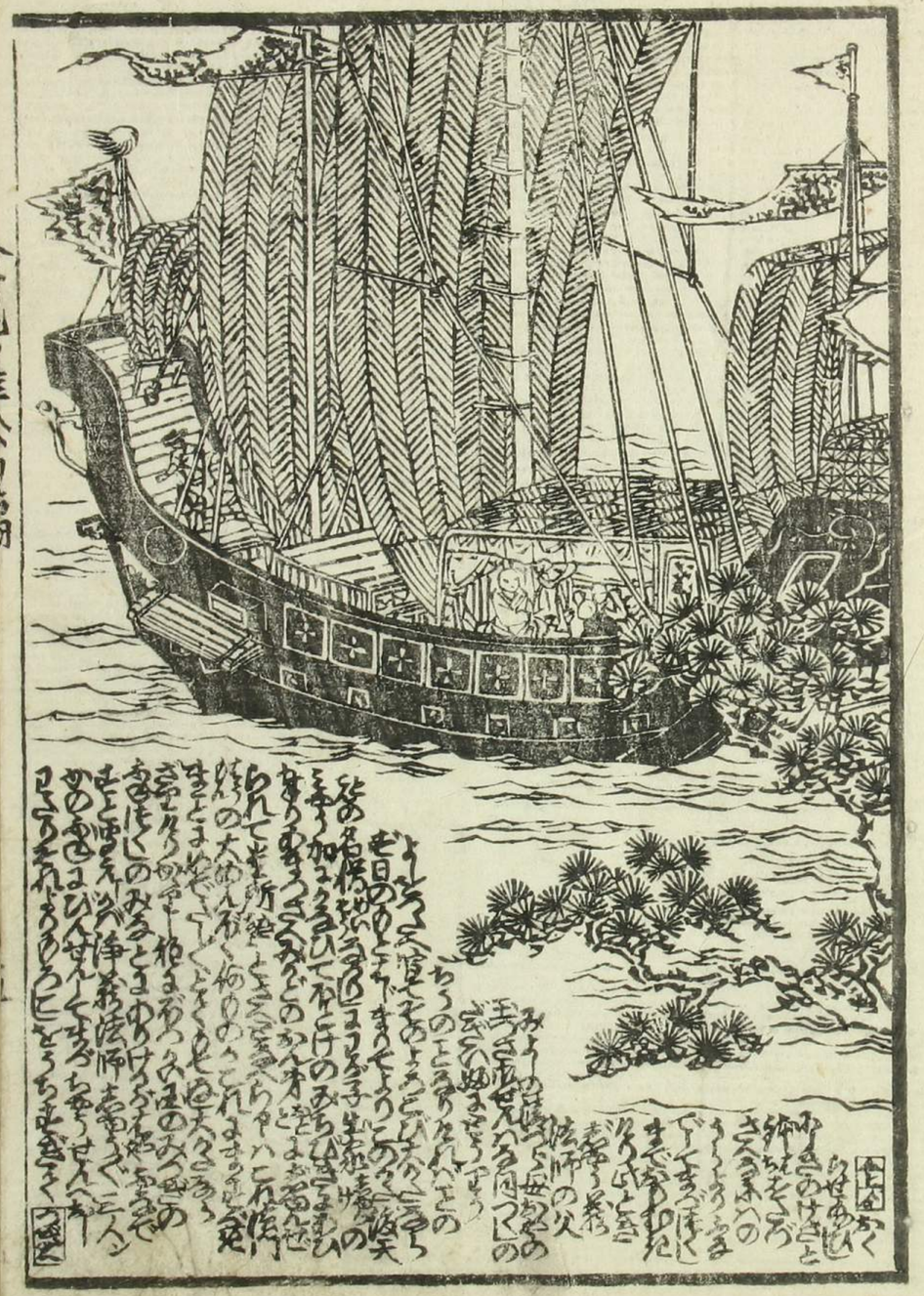
綾彦
笠
母

観音院の廣念
佛體易學
佛心難謨
邪魔與佛
總在汝軀
愚山人
惡僧
廣謀

繫がれ
とかく
利口合を
言ふ
鶯千
とだ
丘の
猿と駒寄
蓑笠
觀音の化身
鞍掛の刀自
惡僧
廣智

金毘羅公白狐
假神女白花孃
福神の道具
めでたく
ちく花
枇杷の
たねのげろ

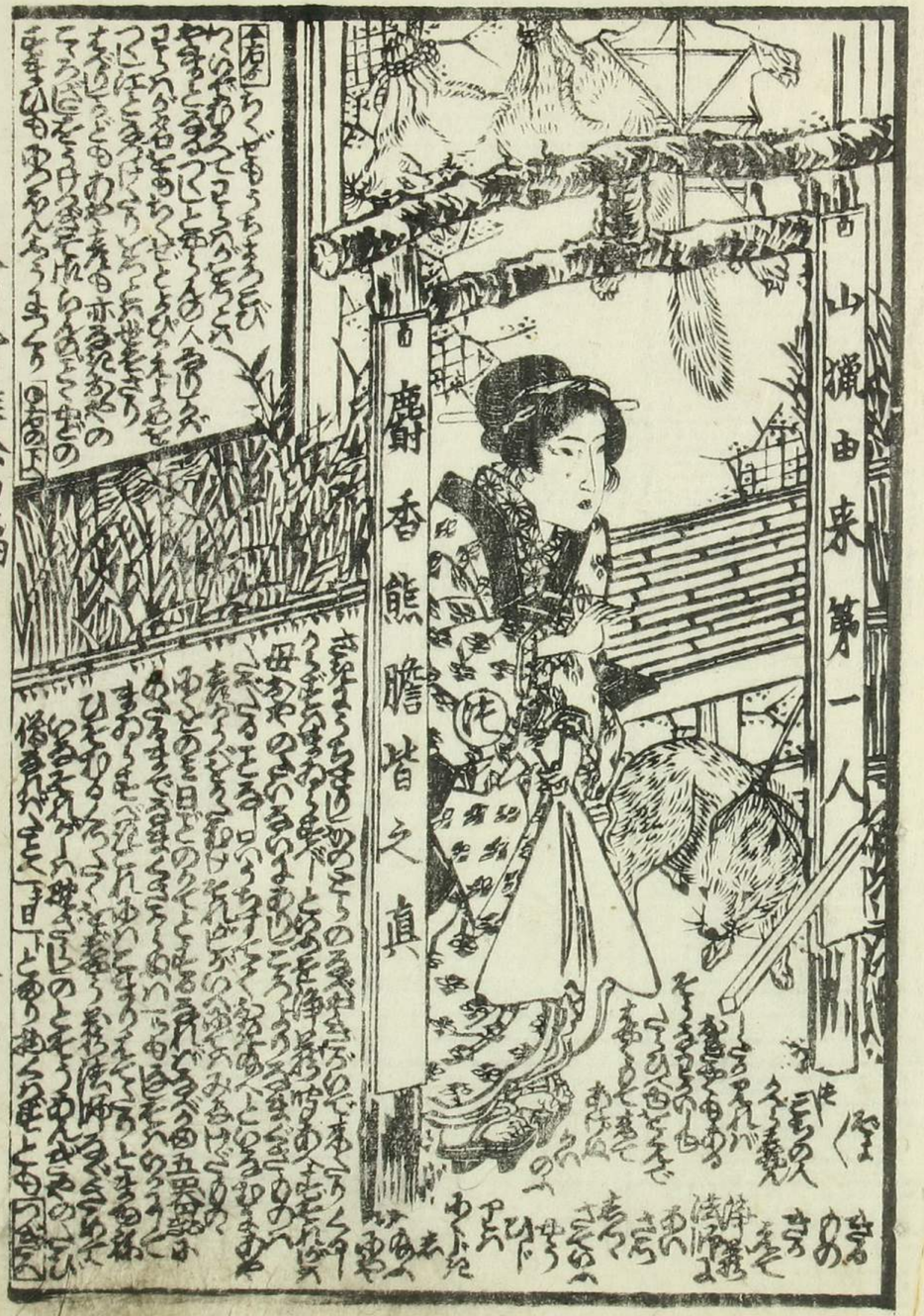
鹿鳴草紙
鈴牧之
假神仙
大禄
雲と起
風をおこし
破園扇
蚊遣
火鉢よ
夏ぞくれ
著作堂
黒風洞の黒風大王
金毘羅公白狐



山猫

猫
虎
狼

能忍善神
諸難善神


山猟由来第一人
麝香熊膽皆之真

# 馬琴作

居
山石
浄

浄

山石
東

浄


観

浄

観
岩

金見円弥角四郎

金見円弥角四郎

浄

# 馬琴作

浄蓮
岩
智
謀
廣

廣智

黒風

黒風洞
幽居仙洞樂天真
靜隱深山無俗慮
仙女香

山石
大根持具

黒風山

馬琴作
筆畊谷金川
渓齋英泉画